



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2026/7/19 Rd-3 FUJI SPEEDWAY

天候：曇り時々晴れ 気温：27℃ 出走台数：24 台

第 6 戦及び第 7 戦富士スピードウェイの週末、日曜日午前中には、荒天により中止になった第 3 戦オートポリスの代替え戦が開催された。

本代替戦は、すでに確定している第 3 戦オートポリスの予選順位によってスターティンググリッドが決定されており、レースは 25 周、タイヤ交換無しのスプリントレースとして開催される。このため、選手権ポイントは通常の 60% が与えられる。

太田選手は 2 番グリッドから、牧野選手は 8 番グリッドからスタート。

太田選手は抜群のけり出しで 1 コーナーに首位で飛び込んでゆく。

牧野選手もスタートの混乱をうまく切り抜け 4 ポジションアップの 5 番手。

このスタート時、中団グループで複数台の接触がありストップ車両が発生したため、オープニングラップからセーフティカー（以下 SC）が導入される。

SC 中の追い越し検証のため、長く SC ランが続いたが、10 周目にレースは再開。

太田選手は、隊列をマネジメントしスタートダッシュをするが、1 コーナーの濡れた路面でブレーキをロックさせてオーバーシュート。4 番手までポジションを落とすことに。

16 周目に 3 番手までポジションを戻し、2 番手まで 0.5 秒差まで詰め寄るがそのまま 3 位フィニッシュ。牧野選手は終盤、車の挙動にトラブルを感じるも、何とかゴールまで持ちこたえ 5 位でゴール。

しかし 6 号車に「グリッド上路面改変行為」により 10 秒タイムペナルティの裁定が下され、太田選手は 8 位。牧野選手は 4 位となった。

5：牧野任祐 選手 4 位

スタートの混乱を抜け大きくポジションを上げることが出来ました。

レースペースはまだ足りない状況で、終盤は車のバイブレーションがひどくて、リタイヤも頭をよぎりましたが、何とかゴールまで持ちこたえて貴重なポイントを加算できました。まだ足りないところはありますが、トップグループのパフォーマンスを取り戻しつつあります。

6：太田格之進 選手 8 位

スタート良く首位でコントロールしていたのですが、SC 再開の 1 コーナーブレーキングでウェットパッチに乗ってしまい 4 番手まで順位を落としてしまいました。

レースペースはありましたが、3 番手迄しか取り戻せませんでした。

残念ながら「スタートグリッドが濡れていたのをブロワーで乾かす行為」でタイムペナルティを受けることになりましたが、選手権ポイントは通常の 60% という事でダメージは最小限で済んだと思います。気持ちを午後の Rd7 に切り替えて臨みます。